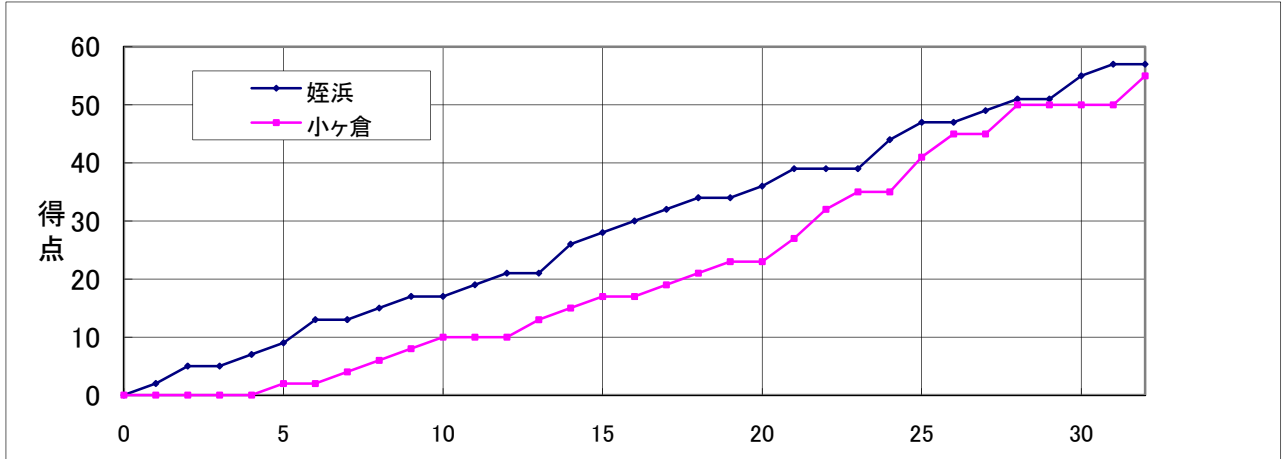


大会名	平成22年度 九州中学校体育大会 第40回九州中学校バスケットボール競技大会	B2	11:20	男子1回戦																
	期日	2010年(平成22年)8月6日(金)	姪浜 57 (福岡2位) ○	<table border="1"> <tr><td>15</td><td>—</td><td>6</td></tr> <tr><td>15</td><td>—</td><td>11</td></tr> <tr><td>14</td><td>—</td><td>18</td></tr> <tr><td>13</td><td>—</td><td>20</td></tr> <tr><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr> </table>	15	—	6	15	—	11	14	—	18	13	—	20	—	—	—	55 小ヶ倉 ● (長崎1位)
					15	—	6													
15	—	11																		
14	—	18																		
13	—	20																		
—	—	—																		
会場	大分県立総合体育館																			

主審 安元 正彦 副審 大森 亮二



タイム・アウト(経過時間)					
1Q・2Q	3Q・4Q			OT1	OT2
07:08	—	21:10	22:55	31:19	—

タイム・アウト(経過時間)					
1Q・2Q	3Q・4Q			OT1	OT2
03:54	11:51	28:56	30:33	31:44	—

姪浜							
No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F	
4	* 柿内 輝心 (C)	20	2	6	2	0	
5	日野 大嵩	6	0	3	0	0	
6	加倉 聖大	—	—	—	—	—	
7	* 野口 裕太郎	0	0	0	0	1	
8	北岡 翔	—	—	—	—	—	
9	古賀 達典	—	—	—	—	—	
10	* 入山 宥昌	4	0	2	0	3	
11	* 山崎 拓	21	2	7	1	0	
12	清水 駿佑	—	—	—	—	—	
13	本土 聖也	—	—	—	—	—	
14	* 久我 蓮	4	0	2	0	3	
15	浦田 一朗	2	0	1	0	3	
16	土橋 大樹	—	—	—	—	—	
17	原 直輝	—	—	—	—	—	
18	山崎 純	—	—	—	—	—	
コーチ	鶴 我 隆博						
合計		57	4	21	3	10	

小ヶ倉							
No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F	
4	* 三根 一求 (C)	27	0	9	9	2	
5	* 松尾 舜弥	12	1	4	1	2	
6	* 山口 智也	8	2	1	0	1	
7	* 山口 悟	0	0	0	0	2	
8	* 山下 竜平	8	0	4	0	0	
9	松岡 慎弥	—	—	—	—	—	
10	桑宮 亮	—	—	—	—	—	
11	野口 大樹	0	0	0	0	0	
12	井手 威大理	0	0	0	0	1	
13	岩崎 拓哉	—	—	—	—	—	
14	瀧野 健太	—	—	—	—	—	
15	橋本 悠	—	—	—	—	—	
16	中山 皐生	—	—	—	—	—	
17	森山 湧斗	—	—	—	—	—	
18	福井 斗偉	—	—	—	—	—	
コーチ	高谷 史子						
合計		55	3	18	10	8	

*…スターター (C)…キャプテン 3P…3点シュート 2P…2点シュート FT…フリースロー F…ファウル R…リバウンド As…アシスト

戦評

大会第2試合日は、長崎県第1代表・小ヶ倉中学校と福岡県第2代表・姪浜中学校というともに優勝候補同士の対決となった。1Q両チームともマンツーマンでスタート。姪浜#4柿内のステップインで先制。続けて3Pも決まり5-0とリード。対する小ヶ倉は走るバスケットでリズムを取り戻そうとするが得点に結びつかない。残り4分姪浜#4柿内のドライブシュートが決まった時点で、小ヶ倉たまたらタイムアウト。その後も姪浜はディフェンスの手を緩めず小ヶ倉は得点できない。一方、姪浜は#4柿内#11山崎のホットラインが機能し確実に加点する。15-6姪浜リードで1Q終了。

2Q引き続き姪浜は小ヶ倉の攻撃の基点#4三根を徹底マーク。姪浜#14久我のジャンプシュートや#4柿内の力強い1on1で次々と加点する。残り4分21-10となったところで小ヶ倉タイムアウト。小ヶ倉1-2-2マッチアップゾーンに切り替えペースをつかもうとする。小ヶ倉本来の走るバスケットができていた時間帯もあったが、姪浜#4柿内の3P#11山崎のドライブインシュートを決められ、小ヶ倉はなかなかペースをつかむことができない。30-17姪浜リードで前半終了。

3Q点差を縮めたい小ヶ倉は、姪浜#4柿内にフェイスガード。小ヶ倉#4三根の連続シュートで追い上げを図るが、姪浜#11山崎が冷静にゲームメイク。姪浜#4柿内のボールを持つ時間が少なくなり、その間小ヶ倉#4三根の1on1やアシストからの3Pで次々と加点。残り1分5秒39-35と4点差になったところで姪浜タイムアウト。姪浜#11山崎の3Pと、残り2秒エンドスローインからのシュートで応戦し44-35で終了。

4Q、9点差を追いかける小ヶ倉はディフェンスを1-2-1-1のゾーンプレスに変更。一方、姪浜も同じく1-2-1-1のゾーンプレスで応戦。ともに早い展開に持ち込み、一進一退の攻防が続く。残り3分4秒、姪浜1点リードで小ヶ倉タイムアウト。残り1分17秒姪浜#4から#5へのアシストパスが決まり57-50と7点差になったところで小ヶ倉2回目のタイムアウト。小ヶ倉#4は2人に囲まれながらもシュートまで持っていく、フリースロー3本を確実に決める。残り41秒4点差となったところで姪浜タイムアウト。小ヶ倉は#4ドライブシュートで2点差まで追い詰めるが、姪浜は冷静にボールをコントロールし57-55で逃げ切った。姪浜が鍛えられたディフェンスと力強い1on1の能力で春の覇者、小ヶ倉中を破った。決勝戦を思わせるような、全国レベルの好ゲームであった。

| 記者 | 池田・石田 (所属) 大分県中体連バスケット専門部